

仙台市議会だより

sendai city assembly

第164号
平成26年

第1回定例会号

http://www.gikai.city.sendai.jp/
2014年(平成26年)5月発行

発行 仙台市議会
編集 仙台市議会広報委員会
TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1

年4回発行



杜の都ハーフ2014 (仙台国際ハーフマラソン大会)

ことしも仙台国際ハーフマラソン大会が5月11日(日)に開催されます。1万人を超えるランナーが新緑の杜の都仙台を駆け抜け、復興する仙台の姿を全国、世界に向けて発信します。(写真は平成25年5月開催大会の様子)

平成26年度当初予算を含む82件の議案を可決

3/14	2/28	2/27 ~3/13	2/26	2/21・ 24・25	2/19・ 20	2/13
本会議	本会議	予算等審査特別委員会	常任委員会	本会議	本会議	本会議
<ul style="list-style-type: none"> 人事案件 予算等審査特別委員会委員長報告 常任委員会委員長報告 討論 議案の採決 意見書の採決 	<ul style="list-style-type: none"> 先議議案の採決 	<ul style="list-style-type: none"> 予算等議案の審査 	<ul style="list-style-type: none"> 予算等議案以外の審査 	<ul style="list-style-type: none"> 追加議案説明 一般質問20人 	<ul style="list-style-type: none"> 代表質疑6人 	<ul style="list-style-type: none"> 人事案件 議案の提案理由説明

定例会会期日程

市民のみなさまへ

第1回定例会には、平成26年度予算案や条例案など市長提出議案77件、議員提出議案6件の議案が提出されました。

代表質疑では、震災復興に係る各種事業の進捗のほか、ことし11月に開院する新市立病院の診療体制の整備や、来年3月に開催される国連防災世界会議に向けた取り組みなど、万全の準備が急がれる本市の重要な施策について活発な質疑がなされました。

一般質問においては、本市経済の戦略を描いた「**仙台経済成長デザイン**」の具体策や中小企業の活性化など、復興後を見据えた本市の新たな活力づくりのあり方などについて質問が重ねられました。

また、復興へのさらなるスピー

第1回定例会には、平成26年度予算案や条例案など市長提出議案77件、議員提出議案6件の議案が提出されました。

代表質疑では、震災復興に係る各種事業の進捗のほか、ことし11月に開院する新市立病院の診療体制の整備や、来年3月に開催される国連防災世界会議に向けた取り組みなど、万全の準備が急がれる本市の重要な施策について活発な質疑がなされました。

また、本市議会では、復興に取り組み本市の財政状況を考慮し、昨年度に引き続き今年度も議員報酬の削減を継続することとしました。

平成27年度の震災復興計画の完了に向け、本市の復興が大きく躍進し、すべての被災された方々が安心して生活を送ることができるよう、今後も全力を尽くしてまいります。

仙台市議会
議長 西澤 啓文
副議長 日下 富士夫

定例会の流れ

本会議		委員会		本会議	
開会	議長の開会宣言で会議が始まります。	常任委員会(5委員会)	それぞれの委員会に所属する議員が専門的に審査の上、委員会としての賛成・反対を決定します。	提案説明	市長および議案を提出した議員が議案の提案理由を説明します。
議決	議長が議案について、賛成・反対の採決を行います。	予算等審査特別委員会	議員全員で構成し、一問一答方式により詳しく予算等について審査の上、委員会としての賛成・反対を決定します。	代表質疑	各会派の代表議員が議案について質疑し、提案者に説明を求めます。
討論	議長が議案について、賛成・反対の採決を行います。	常任委員会	各委員が委員会で審査の経過や結果を報告します。	一般質問	発言を通告した議員が市政全般について質問し、執行部の説明を求めます。
閉会	議長の開会宣言で会議が終了します。	特別委員会	議員全員で構成し、一問一答方式により詳しく予算等について審査の上、委員会としての賛成・反対を決定します。	委員会付託	26年度予算について詳しく調べるために、予算等審査特別委員会を設置して議案の審査を託します。その他の議案は、常設の五つの常任委員会に審査を託します。

目次

市民のみなさまへ 定例会会期日程 定例会の流れ	1面
主な議案の紹介 意見書	2面
代表質疑	2・3面
一般質問	4・5面
常任委員会審議の概要	4・5面
用語解説	5面
予算等審査特別委員会 会派別議案賛否一覧表 会派別所属議員 子ども議会のご案内 政策担当者会議を設置しました 次回定例会のご案内 編集後記	6・7面
	8面

主な議案の紹介

今定例会に提出された議案83件のうち82議案が可決され、成立しました(8面の賛否一覧表をご参照ください)。以下、成立した議案の一部を紹介いたします。なお、予算の審議については、6・7面をご覧ください。

平成25年度補正予算
○一般会計(主な補正項目)
・東日本大震災復興交付金について弾力的な予算執行を可能とするため、東日本大震災復興交付金基金への造成積立を259億469万1千4百円追加するもの
・国の25年度第1号補正に対応した補助事業認定決定見込みにより、新展示施設建設費18億2千万円を追加するもの
○特別会計(主な補正項目)
・一般被保険者療養給付費が当初見込み額を上回ることから、必要な経費2億5100万円を追加するもの

所得者への影響を緩和するため臨時福祉給付金を支給するため38億1722万4千円を計上するもの
・国の25年度第1号補正に対応した補助事業認定決定見込みにより、新展示施設建設費18億2千万円を追加するもの
○特別会計(主な補正項目)
・一般被保険者療養給付費が当初見込み額を上回ることから、必要な経費2億5100万円を追加するもの

条例
総務企画局の事務のうち重要施策の総合的企画および調整に関する事項を分掌させるためまちづくり政策局を設置すること
に、総務企画局の事務のうち危機管理に関する事項および消防局の事務のうち防災に関する事項を分掌させるため危機管理室を設置する等のもの
○特別職の職員に對する退職手当支給条例の一部を改正する条例
市長の退職手当の支給に関する特例を定めるもの
○観光交流施設条例の一部を改正する条例
せんだい青葉山交流広場・駐車場を設置するとともに、その利用に係る料金を指定管理者の収入として收受させることとするもの
○市営住宅条例の一部を改正するもの

条例
復興のための市営住宅として若林西市営住宅を設置するとともに、治療方法が確立していない疾病その他の特殊の疾病による一定の障害を有する者に係る入居者資格を緩和する等のもの
○学校条例の一部を改正する条例
「公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律」の改正を考慮し高等学校および中等教育学校の後期課程の授業料を徴収することとするもの
○工事請負契約の締結に関する件
新展示施設建設工事等
・新展示施設建設工事等
○副市長の選任
伊藤 敬幹
○固定資産評価審査委員会の委員

の選任
小野寺 和夫 中山 智之
福田 治
○人権擁護委員候補者の推薦
伊東 祐朗 柴田 蒙
山田 洋子 田所 亮子
五島 昭子 高橋 洋
西山 敦子
○人事委員会の委員の選任
茂地 泰志
議員提出議案
議第1号 特別職の職員に給与、旅費、費用弁償の額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例
平成26年度の議員報酬月額を議長は7万円、副議長は5万円、議員は3万円減額するもの
議第2号 市議会委員会条例の一部を改正する条例
事務分掌条例の改正に合わせ、常任委員会の所管を改めるもの

意見書
第1号 出産育児一時金の速やかな拡充を求める件
出産育児一時金の支給額を産費用の実情に見合う金額に増額し、必要な財政上の措置を求めるもの
第2号 ウイルス性肝疾患の患者に対する支援の拡充を求める件
ウイルス性肝炎が原因である肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度の創設および身体障害者手帳について患者の実態に応じた認定制度とすることを求めるもの
第3号 食の安全・安心の確立を求める件
食品表示等の適正化に向けた早期の法改正と諸施策の推進体制の確立等を求めるもの
可決した意見書は、国会および関係行政庁に提出しました。

自由民主党 仙台

齋藤 範夫 議員

問 市長が施政方針で示した「仙台経済成長デザイン」による本市の経済再生と成長の道筋について所見を伺う。
答 将来の復興需要の収束や人口減少社会の到来を見据え、中小企業の経営安定化や企業誘致等により産業の基礎体力を強化しつつ、技術革新や本市のブランド力の向

問 総事業費80億円地下鉄や市営バスに導入が予定されている「ICカード乗車券」の普及に向けては、市民の利便性向上策について伺う。
答 「イクスカ」の普及に向けて、まずはポイントサービスの実施や28年春からのJR東日本「スイカ」との仙台エリアでの相互利用開始等の取り組みを行っている。提案のあったIC乗車券の相互利用の全国への拡大や、市職員証への機能搭載についてはさまざまな

課題があるが検討していきたい。
その他の主な質疑項目
○震災復興事業の進捗状況
○財政基盤強化の具体的取り組み
○保育需要推計の根拠と保育総量2万人の確保策
○新市立病院の精神科救急医療
○国保一部負担金等の免除措置再開
○地域防災計画と食糧等の備蓄
○指定廃棄物最終処分場問題に対する奥山市長の対応

問 国見小学校に統合される貝森小学校をはじめ、空き校舎を特別支援学校として活用することを検討すべきだ。障害のある児童・生徒の通学・教育環境の改善を図るため、特別支援学校の増設について県と協議を進めるべき。
答 貝森小学校の跡施設を特別支援学校として活用することも含

市民フォーラム 仙台

佐藤 わか子 議員

問 職員意識改革には、前例踏襲や縦割り意識からの脱却につながる仕組みづくりが必要。市長が重要課題に対し全庁から具体的な提案を募るなど、新たな取り組みが必要と考えるが、所見を伺う。
答 未曾有の大災害からの復旧復興は、まさに前例主義や縦割り意識への挑戦であった。今後も重要プロジェクトの推進には、全庁的な知恵を結集し、大きな力に変えられるよう取り組んでいきたい。
その他の主な質疑項目
○新市立病院の開院に向け、入院患者の安全な移送体制と身体合

併症精神科救急医療に対応する精神科医師の確保を図るべき
○仙台駅前サービスセンターは青葉区以外の業務も取り扱うべき
○いじめ防止対策条例の制定
○指定管理者の選定は原則公募の原則に立ち、非公募は見直しを
○放置自転車対策は費用対効果の高い事業へ転換すべき
○国連防災世界会議の成功に向け語学堪能な観光案内ガイド養成を

代表質問

自由民主党 復興仙台

岡部 恒司 議員

問 市長は全力で復興に取り組みむとともに未来を支える活力づくりを加速させると述べているが、復興計画期間の前半を終えた総括と今後に向けての決意を伺う。
答 復興計画の10のプロジェクトは、おおむね計画どおり進んでいる。今後も各事業が直面的課題を適切に把握するとともに、市

問 地元建設業は人手不足や単価急騰など厳しい環境でも復興を願ひ、頑張っている。今後3年間の歳出予算の試算によれば、普通建設事業費は減少し、過去最低水準に逆戻りしてしまう。この減少が地元建設業に与える影響とその対策をどのように考えているのか。
答 復興計画による事業は、その進捗に伴い減少するが、改修や修繕はこれまで以上に実施するほか、必要な施設の建て替えにも対応していく。地元建設業の果たす役割の重要さは認識しており、公営企業とも連携し一定の事業規模

の確保に努めていきたい。
その他の主な質疑項目
○コボスタ宮城をドーム球場に
○マンションの建て替え促進制度
○東北大学南宮キャンパス跡地開発
○バス路線再編はきめ細かい対応を
○受動喫煙防止対策は一律禁煙ではなく、禁煙者も喫煙者も共存できるまちづくりを目指すべき
○貝森小の統合は他の統廃合の試金石となるので丁寧な対応を

問 国連防災世界会議開催に約7億円のほか、新展示施設建設に約18億円を含め、国際センターや周辺整備、仙台商業跡地利活用等への巨額の税金投入は問題だ。過大な投資はやめるべき。
答 国連防災世界会議の地元費用負担は、被災地への過度の負担とならないよう、国と調整のうえ

日本共産党

ふなやま 由美 議員

問 平成26年4月から再開される被災者への国民健康保険の一部負担金免除、介護保険利用料免除措置について、県へも財政支援を求め、対象をさらに拡大すべき。
答 国民健康保険の一部負担金等の免除措置については、本来、国の責任で行われるものであると考えている。再開にあたり国および県から十分な財源の裏付けがない中で、県市長会として対象者を限定せざるを得ないと判断し、対

象を市民税非課税世帯で大規模半壊以上としたところであり、拡大することは困難である。
その他の主な質疑項目
○復興公営住宅の整備戸数の拡大
○住宅再建のための実費助成制度を宅地被災者にも対象拡大せよ
○東西線開業に伴うバス路線再編による減便・路線廃止をやめよ
○原油高騰や物価上昇で苦しむ市民への暖房費助成の実施を

公明党

菊地 昭一 議員

問 「3・11」震災の風化防止を
東日本大震災から3年がたち、震災の風化が懸念される。被災自治体として現地の実態と復興状況について広く発信せよ。
答 本市では平成25年7月に震災復興メモリアル等検討委員会を立ち上げ、映像等の震災記録を震災時の体験とともに伝える手法や震災体験のない来訪者や子供達へ

問 11月1日開院予定の新市立病院において、市民の命を守る取り組みとして、救命救急センターにおける心肺機能停止患者のさらなる蘇生率向上に努めよ。
答 新病院では救命救急センターの増床など機能を拡充し、心臓血管外科の新設も予定している。他都市の先進事例等も参考にしながら、心肺蘇生率の向上に努め、救命救急医療の一層の充実を図って

いききたい。
その他の主な質疑項目
○国連防災世界会議を契機に防災の観点から姉妹・友好都市である中国長春、韓国光州広域市との「友好と信頼の絆」を深めよ
○復興推進の新年度も被災者の想いに寄り添い細やかに対応しながら復興事業の促進を図れ
○敷金の徴収猶予等、復興公営住宅の入居者への丁寧な説明に努めよ

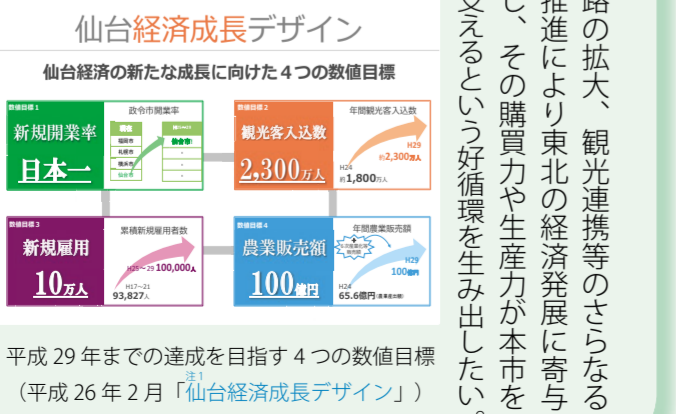
社民党

石川 建治 議員

問 被災自治体は、本市が東北のマザーシティとして、東北全体の復興に力を発揮することを期待している。東北の被災地の復興に向けた具体的取り組みについて伺う。
答 「東北の復興なくして仙台の復興はない」と認識しており、これまでも国に復興の課題を発信するとともに他自治体へ職員を派

問 復興後を見据えた地域産業の振興を目的とする「仙台経済成長デザイン」による事業について、東北全体への経済効果の波及を促進する具体策を伺う。
答 起業支援センターを中心に育成した起業家を東北一に輩出する取り組みや東北ろっけんパーク等による仙台圏のマーケットを有効活用したプロモーション、販

路の拡大、観光連携等のさらなる推進により東北の経済発展に寄与し、その購買力や生産力が本市を支えるという好循環を生み出したい。
その他の主な質疑項目
○復興計画期間後の被災者支援
○自転車の走行環境整備と交通安全教育の推進
○空き家の発生予防策と有効活用
○バス事業の新経営改善計画の策定
○市立病院移転と地域医療連携



一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。20名の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨等を掲載しています。

自由民主党・仙台

菊地 崇良 議員

問 バス路線再編によって不便になるとの地域の声が多い。高齢者の生活・通院のためにも一部の路線を残すべき。
答 利便性向上に努め、再編については今後の市民説明会でご意見を伺ってみたい。
 ○震災からの生活再建促進と、きめ細やかな相談支援体制
 ○仙台駅再開発による経済効果を全市に広げていくべき
 ○震災の経験に基づいた新たな市民協働条例の制定



東部地区の海岸公園整備イメージパース(蒲生地区のスポーツゾーン)

市民フォーラム仙台

渡辺 敬信 議員

問 防災体制の強化に向けた応急給水施設の整備拡充など飲料水の確保を伺う。
答 災害時の応急提供用飲料水の備蓄のほか、全小学校への災害時給水栓設置や中学校区数64基の仮設水槽セッ卜整備など、応急給水体制の大幅拡充を予定している。
 ○いじめ防止への取り組み
 ○防犯力向上に向けた情報発信
 ○まちづくり政策とICT活用
 ○マイナンバー制度への対応

問 防災体制の強化に向けた応急給水施設の整備拡充など飲料水の確保を伺う。
答 災害時の応急提供用飲料水の備蓄のほか、全小学校への災害時給水栓設置や中学校区数64基の仮設水槽セッ卜整備など、応急給水体制の大幅拡充を予定している。
 ○いじめ防止への取り組み
 ○防犯力向上に向けた情報発信
 ○まちづくり政策とICT活用
 ○マイナンバー制度への対応

一般質問

審議の概要

小野寺 利裕 議員
問 国の「国土強靱化基本法」を受け、本市には震災の教訓を生かした防災のあり方を世界に発信していく使命があると思つ。市長の所見を伺う。
答 震災を経験した本市の防災への取り組みを国連防災世界会議で紹介し、世界の防災文化の構築に貢献したい。
 ○インフラ長寿命化に不可欠な技術者の人材確保・育成
 ○商店街と連携した公共交通の利用促進策

社 民 党
相沢 和紀 議員
問 復興の正念場となる新年度の人員確保と配置を伺う。
答 復興公営住宅の整備や蒲生北部地区における区画整理事業等の人員体制確保を行い、復興事業の推進に努めたい。
 ○職員一丸となる組織づくり
 ○臨時職員の待遇改善を

自由民主党
大泉 鉄之助 議員
問 震災のメモリアル緑地ともなり得る「かさ上げ道路」の防潮林は、東北在来樹木と松の混合樹林とすべき。
答 津波防災の観点からも風土に適した樹種選定は重要であり、活用を検討したい。
問 仙台経済成長デザイン
答 推進については先を見据えた予算措置が肝要。所見を伺う。

自由民主党
大泉 鉄之助 議員
問 震災のメモリアル緑地ともなり得る「かさ上げ道路」の防潮林は、東北在来樹木と松の混合樹林とすべき。
答 津波防災の観点からも風土に適した樹種選定は重要であり、活用を検討したい。
問 仙台経済成長デザイン
答 推進については先を見据えた予算措置が肝要。所見を伺う。

日本共産党
高見のり子 議員
問 被災が原因で転校した千人を超す本市の子も達を支援するため、教員の増員を。
答 子ども向き合う時間の確保として多忙化解消や非常勤講師の配置を促している。
 ○東六郷小は現地再建地区である東六郷のまちづくりと一体に捉え、「コミュニティ防災の拠点」として再建すべき
 ○NPO等が仮設集会所等で行う学習支援に財政支援を
花木 則彰 議員
問 子育て新制度に基づき市が定める条例は、従来水準から後退せず充実させるべき。

大槻 正俊 議員
問 再生可能エネルギー創
答 再生可能エネルギー創

自由民主党
小野寺 淳一 議員
問 火災発生時に重要な消火栓の3割は標識がなく付近に車両が駐車すれば使用困難となる。有効な対策を求め。
答 標識の設置促進、消火栓付近への駐車禁止と除雪の協力体制の確保に努めていく。

**市議会では傍聴を
お待ちしております。**

自由民主党復興仙台
鈴木 勇治 議員
問 坪沼小統廃合に伴う通学や放課後活動の環境変化には児童本位で対応すべき。
答 遠距離通学への支援策を講じ、生出入の図書室を放課後活動の場とする予定である。
 ○坪沼小統廃合の合意形成過程
 ○機能集約型の市街地形成と地域再生に向けた街づくり
 ○地下鉄東西線沿線における民間開発誘導への取り組み
 ○市道山一1号線沿線の安全対策の進め方と今後の展開

公明 党
鈴木 広康 議員
問 本市の復興への思いと志を「平和と希望都市宣言」として国内外に発信すべき。
答 都市防災力の向上に努めながら、国連防災世界会議等の機会を通じ、復興への思いを国内外に発信していく。
 ○消防団の処遇を改善すべき
 ○市民参加の姉妹都市交流
 ○スマートフォンを活用した市民との情報交換

自由民主党
小野寺 利裕 議員
問 国の「国土強靱化基本法」を受け、本市には震災の教訓を生かした防災のあり方を世界に発信していく使命があると思つ。市長の所見を伺う。
答 震災を経験した本市の防災への取り組みを国連防災世界会議で紹介し、世界の防災文化の構築に貢献したい。
 ○インフラ長寿命化に不可欠な技術者の人材確保・育成
 ○商店街と連携した公共交通の利用促進策

自由民主党
大泉 鉄之助 議員
問 震災のメモリアル緑地ともなり得る「かさ上げ道路」の防潮林は、東北在来樹木と松の混合樹林とすべき。
答 津波防災の観点からも風土に適した樹種選定は重要であり、活用を検討したい。
問 仙台経済成長デザイン
答 推進については先を見据えた予算措置が肝要。所見を伺う。

自由民主党
小野寺 淳一 議員
問 火災発生時に重要な消火栓の3割は標識がなく付近に車両が駐車すれば使用困難となる。有効な対策を求め。
答 標識の設置促進、消火栓付近への駐車禁止と除雪の協力体制の確保に努めていく。

常任委員会 審議の概要

平成26年2月26日開催

総務財政委員会

委員長 菅原 健
 副委員長 渡辺 敬信

〈付託議案審査〉
 付託された事務分掌条例の一部を改正する条例ほか10議案のうち、第33号議案および第38号議案は賛成多数で、その他9議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。
問 職員定数を減らす財政改革の方針がある一方で、今回職員定数を増加するに至った理由を伺う。
答 国連防災世界会議開催に向

市民教育委員会

委員長 跡部 薫
 副委員長 佐藤 和子

〈付託議案審査〉
 付託されたいじめ問題対策連絡協議会等条例ほか7議案は、すべて全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。
問 このたび設置されるいじめ問題対策連絡協議会等の組織におけるいじめ防止に向けた取り組みについて基本的な考え方を伺う。
答 学校の教育活動の中で、児童生徒の倫理観や道徳観を育てな

健康福祉委員会

委員長 相沢 和紀
 副委員長 佐々木 真由美

〈付託議案等審査〉
 付託された民生委員の定数を定める条例ほか4議案は、すべて全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。
問 継続された意見書案2件のうち、継続審査中の意見書案1件は全会一致で議長に提出すべきものと決定しました。
問 民生委員の高齢化や担い手不足が懸念される。地域福祉の向上

経済環境委員会

委員長 小野寺 健
 副委員長 やしろ 美香

〈付託議案審査〉
 付託された農業園芸センター条例を廃止する条例ほか3議案のうち、第58号議案および第60号議案は賛成多数で、その他2議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。
問 農業園芸センター運営の優先交渉権者の事業提案内容を伺う。
答 関東地方での複数の直売所運営の実績を基に、先進的な施設

都市整備建設委員会

委員長 岡本 あき子
 副委員長 高見のり子

〈付託議案審査〉
 付託された市営住宅条例の一部を改正する条例ほか5議案は、すべて全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。
問 本市が有する鉱業権の取得の経緯と、放棄する理由を伺う。
答 文化財や風致等土地を保全するため、国の指導により民間事業者から譲渡を受けた。その後、

用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。

- 仙台経済成長デザイン(注1)
 - 1面4段、2面1段、3面5段、3面6段、5面4段
- かんばる避難施設(注2)
 - 4面4段、6面6段
- お泊りデイサービス(注3)
 - 6面5段

会派別所属議員

平成26年3月14日現在

渡邊 敬信	加藤 けんいち	日下 富夫	木村 勝好	渡辺 公一	小野寺 健	佐藤 わか子	岡本 あき子	安孫子 雅浩	市民フォーラム仙台	やしろ 美香	田村 稔	野田 啓文	西澤 正昭	佐藤 次彦	赤間 新治郎	伊藤 繁雄	鈴木 崇良	菊地 原健	菅原 和彦	加藤 和彦	斎藤 範夫	自由民主党・仙台		
大泉 鉄之助	自由民主党	及川 英樹	小野寺 淳一	早坂 あつし	柳橋 邦彦	みんの党・みんの仙台		ひぐち のりこ		小山 勇朗	相沢 和紀	石川 建治	大槻 正俊											日本共産党仙台市議団

会派別議案賛否一覧表

議案等 []内は議案番号	会派名 ()内は所属議員数										採決結果
	自由民主党・仙台	市民フォーラム仙台	自由民主党復興仙台	公明党仙台市議団	日本共産党仙台市議団	社民党仙台市議団	みんの党・みんの仙台	自由民主党	自由民主党	自由民主党	
一般会計(第4号)[1] 高速鉄道事業会計(第2号)[12]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度補正予算案 特別会計 ・都市改造事業(第1号)[2]・国民健康保険事業(第1号)[3]・中央卸売市場事業(第2号)[4]・駐車場事業(第1号)[5]・公債管理(第3号)[6]・新墓園事業(第1号)[7]・介護保険事業(第2号)[8]・後期高齢者医療事業(第1号)[9] 企業会計 ・下水道事業(第3号)[10]・自動車運送事業(第1号)[11]・水道事業(第2号)[13]・ガス事業(第1号)[14]・病院事業(第2号)[15]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度予算案 一般会計[16] 特別会計 ・都市改造事業[17]・国民健康保険事業[18]・後期高齢者医療事業[26] 企業会計 ・下水道事業[27]・自動車運送事業[28]・高速鉄道事業[29]・水道事業[30]・ガス事業[31]・病院事業[32] 特別会計 ・中央卸売市場事業[19]・公共用地先行取得事業[20]・駐車場事業[21]・公債管理[22]・母子寡婦福祉資金貸付事業[23]・新墓園事業[24]・介護保険事業[25]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例等制定案 仙塩広域都市計画事業仙台市蒲生北部被災市街地復興土地区画整理事業施行規程[33] 民生委員の定数を定める条例[34]、消防長及び消防署長の資格を定める条例[35]、いじめ問題対策連絡協議会等条例[36]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正案 事務分掌条例[37]、特別職の職員の給与、旅費、費用弁償の額並びにその支給方法に関する条例[39]、市長等の給与に関する条例[40]、職員の給与に関する条例及び仙台市立高等学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例[41]、特別職の職員に対する退職手当支給条例[42]、交通安全対策会議条例[43]、薬事法の施行に関する条例[44]、温泉法の施行に関する条例等[45]、児童福祉施設条例[46]、市営住宅条例[49]、自転車等駐車場条例[50]、下水道事業の設置等に関する条例等[51]、浄化槽事業条例[52]、消防関係手数料条例[53]、社会教育委員の設置に関する条例[55]、市民センター条例[56] 職員定数条例[38]、観光交流施設条例[47]、国際文化交流会館条例[48]、学校条例[54]、ガス供給条例[57]、国民健康保険条例[75]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例廃止案 農業園芸センター条例[58]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他議案 工事請負契約の締結に関する件[59・76]、工事請負契約の締結に関する件の一部変更に関する件[61]、財産の取得に関する件[62]、権利の放棄に関する件[63・64]、指定管理者の指定に関する件[65・66]、事務の受託の協議に関する件[67]、包括外部監査契約の締結に関する件[68]、町の区域を新たに画する件[69・70]、市道路線の認定及び廃止に関する件[71] 工事請負契約の締結に関する件[60] ※副市長の選任に関する件[72]、※固定資産評価審査委員会の委員の選任に関する件[73]、人事委員会の委員の選任に関する件[77] ※人権擁護委員候補者の推薦に関する件[74]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 可決 同意 異議ないものと決定
議員提出議案 議第1号 特別職の職員の給与、旅費、費用弁償の額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例 議第2号 市議会委員会条例の一部を改正する条例 意見書第1号 出産育児一時金の速やかな拡充を求める件 意見書第2号 ウイルス性肝炎患者に対する支援の拡充を求める件 意見書第3号 食の安全・安心の確立を求める件 意見書第4号 特定秘密保護法の撤廃を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 可決 可決 否決

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対
※印の3議案は、会派名「復興仙台」として採決されました。復興仙台は2月19日に会派名称を「自由民主党復興仙台」に変更しております。

平成26年第2回定例会は、6月11日(水)に開会の予定です。

子ども議会（議会体験プログラム）のご案内

仙台市議会では市議会をもっと身近に感じてもらうために小中高校生を対象とした子ども議会の参加団体(10～60人程度)を募集しています。実際の議場で、子ども達が議長や議員、市長などの役割を演じながら審議を体験するものです。所要時間は1時間程度です。学校の校外学習や社会見学などにご利用ください。



平成26年1月24日に開催した子ども議会の様子。議会体験の後、参加した子ども達からは、議会の仕組みや議員の活動など多くの質問が寄せられました。

問い合わせ先 議会事務局調査課
TEL 214-6169

政策担当者会議を設置しました

本市議会では、昨年11月に議会活性化会議を立ち上げ、政策立案機能の充実に向けた方策を検討してまいりました。その結果、議会内に新たに政策担当者会議を設置し、市政課題の解決に向けた政策立案に主体的に取り組むこととしたところです。

政策担当者会議は会派の政調会長などの議員で構成するものであり、各会派間の調整を行いながら、議員による政策立案の策定に取り組み、市民の皆さまの暮らしに反映させてまいります。

今後とも、議会のより一層の活性化を目指し、市民に開かれた議会となるよう力を尽くしてまいります。

編集後記

この市議会だよりは、年4回開かれる定例会の審議の内容を、広く市民の皆さまにお知らせするために編集しています。

議会では、皆さまの生活に直結する議題を活発に議論しています。その内容を少しでも皆さまと共有していきたいとの思いから、市議会ホームページや議会ポスター、議会中継のインターネット動画配信など、さまざまな広報活動を展開しています。新年度は、議会開会のご案内を新聞にも掲載する予定です。

これからも、より開かれた議会広報を目指してまいります。皆さまからのご感想やご意見をお寄せいただきたいと思います。